

さんぱくゼミナール

信州の教育者・地質学者 保科百助

— 明治期を駆け抜けた唯一無二の奇才 五無齋にせまる —

講師 五無齋保科百助研究会 むらた おさとし 村田 長年 さん



ほしなひゃくすけ こむさい 保科百助 (号・五無齋) プロフィール

- 1868 (明治元) 年 北佐久郡山部村 (後に横島村、現立科町) に生まれる。
- 1891 (明治 24) 年 長野県尋常師範学校卒業。
- 1895 (明治 28) 年 武石村下本入 (現上田市武石下本入) 産の緑簾石を発見。同年、浦里村越戸 (現上田市北西部および青木村大字当郷) 産の玄能石を発見。
- 1900 (明治 33) 年 蓼科高等小学校ならびに蓼科実業補習学校 (現蓼科高等学校) の校長として郷里へ赴任。
- 1901 (明治 34) 年 教職を自辞。同年、第 1 回目となる長野県下漫遊の地学標本採集へ旅立つ。
- 1903 (明治 36) 年 100 組の長野県地学標本を県下の各学校に頒布するとともに、各地で地学の講演会を行う。
- 1907 (明治 40) 年 信濃教育会による「信濃図書館」設立。その設立に際し、同館設立係員として尽力して自身の所有する蔵書一切を寄贈。
- 1909 (明治 42) 年 第 2 回目となる地学標本採集の旅に出る。
- 1911 (明治 44) 年 逝去。後年、東北信地方の 2 ヶ所に石碑が建立される。

《左写真》岩石・鉱物採集姿の保科百助 (五無齋) 1902 (明治 35) 年 11 月
【写真提供：信濃教育会・佐久教育会】

7 月 18 日 (土) から 9 月 27 日 (日) まで開催の企画展「博物学と登山」関連催しです。
信州の教育者で地質学者の保科百助について造詣の深い講師をお招きした講演会。
明治期を駆け抜けた唯一無二の奇才と称される“五無齋”こと保科百助について、その人物像やエピソード、後世に残したその功績などをお話しいたします。
当日は、参加無料で、どなたでもご参加いただけます (要 事前申込)。
みなさまのご参加をお待ちしています。

※当日は新型コロナウイルス感染症の感染防止に十分配慮して実施します。
参加者のみなさまにはマスク着用のほか、手指消毒の徹底等にご協力願います。

日時 令和 2 年 9 月 20 日 (日)

午後 1 時 30 分 ~ 午後 3 時

会場 市立大町山岳博物館 講堂 / 定員 50 名

※当日はマスク着用でご参加ください

※先着順・定員になり次第締め切り

お申し込み・・・当日までに市立大町山岳博物館へ、参加希望者の氏名・住所・電話番号を FAX か E メール、または電話でご連絡ください。

【FAX : 0261-21-2133 / E メール : sanpaku@city.omachi.nagano.jp / 電話 : 0261-22-0211】

参加無料
(要 事前申込)



お問い合わせ

市立大町山岳博物館

〒398-0002 長野県大町市大町 8056-1
TEL : 0261-22-0211 / FAX : 0261-21-2133
E-mail : sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL : https://www.omachi-sanpaku.com

交通

・公共機関
・マイカー

JR 信濃大町駅から タクシー 5 分 徒歩 25 分
長野自動車道 安曇野 IC から 約 40 分
北陸自動車道 糸魚川 IC から 約 95 分
上信越自動車道 長野 IC から 約 80 分